



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 神奈川中央交通株式会社

上場取引所 東

コード番号 9081 URL <https://www.kanachu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 今井 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部広報・IR担当課長 (氏名) 村山 大輔 TEL 0463-22-8894

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	96,128	7.9	6,922	△7.3	7,022	△9.6	3,899	△36.0
2025年3月期第3四半期	89,094	2.2	7,469	20.6	7,767	20.1	6,090	54.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 7,397百万円(△44.0%) 2025年3月期第3四半期 5,135百万円(△22.6%)

	1株当たり四半期純利益 円 銭	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	317.79	—	—
2025年3月期第3四半期	496.35	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %
2026年3月期第3四半期	177,209	69,497	35.7
2025年3月期	165,444	63,402	34.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 63,349百万円 2025年3月期 57,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末 円 銭	第2四半期末 円 銭	第3四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2026年3月期	—	45.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	124,900	5.7	5,610	△24.1	5,450	△29.6	2,860	△43.7	233.07	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	12,600,000株	2025年3月期	12,600,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	328,914株	2025年3月期	328,810株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	12,271,137株	2025年3月期3Q	12,271,398株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調にある一方、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図るとともに、経営の効率化に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、96,128百万円（前年同期比7.9%増）となりましたが、設備投資拡大による減価償却費の増加などにより、営業利益は6,922百万円（前年同期比7.3%減）、経常利益は7,022百万円（前年同期比9.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,899百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

(旅客自動車事業)

乗合バス事業においては、旅客需要が堅調に推移したことにより増収となりました。また、7月に道の駅「湘南ちがさき」の開業に伴い、茅ヶ崎駅南口と同施設を結ぶ新系統の運行を開始し新たな需要に対応いたしました。さらに、湘南エリアにおいてAIオンドマンドバスや自動運転バスの実証実験を引き続き実施するなど、持続可能なモビリティサービスの実現に向けた取り組みを推進しました。

タクシー事業においては、神奈中タクシー㈱にて一車当たりの収入が増加したことにより増収となりました。

貸切バス事業においては、神奈中観光㈱にて契約単価の向上を図ったことにより増収となりました。

以上の結果、旅客自動車事業全体の売上高は44,189百万円（前年同期比0.6%増）となりましたが、減価償却費の増加や従業員の待遇改善による人件費の増加により、営業利益は2,633百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

(不動産事業)

賃貸事業においては、高稼働率の維持に努めたものの、一部テナントの解約などにより減収となりました。

分譲事業においては、湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数が増加したことにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は5,036百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は1,885百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

(自動車販売事業)

商用車販売事業においては、神奈川三菱ふそう自動車販売㈱にてトラックの新車販売台数が増加したことや、車両整備収入が増加したことなどにより増収となりました。

輸入車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ㈱にて中古車販売台数の増加により増収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は33,176百万円（前年同期比19.7%増）、営業利益は1,391百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

(その他の事業)

商用車架装事業においては、横浜車輌工業㈱にてカプラ架装の受注が増加したことなどにより増収となりました。

飲食事業においては、㈱神奈中システムプランにて「ミスターードーナツ」や「ドトールコーヒーショップ」の新規出店などにより増収となりました。

流通事業においては、㈱神奈中商事にて前期に販売したバス運賃箱の反動減などにより減収となりました。

情報サービス事業においては、㈱神奈中情報システムにて前期に販売したドライブレコーダーなどのバス車載器の反動減などにより減収となりました。

ホテル事業においては、前期に平塚別館を閉館したことなどにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は22,132百万円（前年同期比3.7%減）となりましたが、商用車架装事業の増収に加え、不採算店舗の閉店を進め費用の削減を図ったことなどにより、営業利益は1,226百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(財政状態の変動状況)

総資産は、商用車架装事業における事務所・工場移転用地取得に伴い土地が増加したことや、投資有価証券の時価評価額が増加したことなどにより、前期末に比べて11,764百万円増加し、177,209百万円となりました。

負債は、借入金が増加したことなどにより、前期末に比べて5,670百万円増加し、107,712百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて6,094百万円増加し、69,497百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、現時点において2025年10月28日発表の数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	4,272	3,702
受取手形、売掛金及び契約資産	9,746	10,335
商品及び製品	14,253	15,477
仕掛品	47	47
原材料及び貯蔵品	653	607
その他	2,922	3,814
貸倒引当金	△21	△17
流动資産合計	31,874	33,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,712	97,226
車両運搬具	42,511	42,627
土地	62,450	66,935
その他	16,016	16,125
減価償却累計額	△104,698	△105,015
有形固定資産合計	111,992	117,899
無形固定資産	950	841
投資その他の資産		
投資有価証券	17,864	22,330
その他	2,791	2,197
貸倒引当金	△28	△26
投資その他の資産合計	20,626	24,502
固定資産合計	133,570	143,242
資産合計	165,444	177,209
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	7,622	7,794
短期借入金	20,982	21,961
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
未払法人税等	1,244	475
賞与引当金	2,462	1,043
環境対策引当金	438	301
その他	14,201	16,426
流动負債合計	56,952	53,002
固定負債		
社債	12,000	15,000
長期借入金	17,366	22,332
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	3,498	3,309
その他	12,222	14,064
固定負債合計	45,089	54,709
負債合計	102,042	107,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	723	723
利益剰余金	48,737	51,471
自己株式	△939	△940
株主資本合計	51,681	54,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,996	8,895
退職給付に係る調整累計額	50	38
その他の包括利益累計額合計	6,046	8,933
非支配株主持分	5,674	6,148
純資産合計	63,402	69,497
負債純資産合計	165,444	177,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
旅客自動車事業営業収益	43,777	44,039
不動産事業売上高	4,702	4,978
その他の事業売上高	40,615	47,110
売上高合計	89,094	96,128
売上原価		
旅客自動車事業運送費	35,724	37,058
不動産事業売上原価	2,209	2,589
その他の事業売上原価	33,350	38,841
売上原価合計	71,283	78,489
売上総利益	17,811	17,639
販売費及び一般管理費		
販売費	6,420	6,644
一般管理費	3,920	4,072
販売費及び一般管理費合計	10,341	10,716
営業利益	7,469	6,922
営業外収益		
受取配当金	447	604
助成金収入	90	12
その他	141	161
営業外収益合計	679	779
営業外費用		
支払利息	290	517
その他	92	162
営業外費用合計	382	679
経常利益	7,767	7,022
特別利益		
固定資産売却益	99	51
補助金収入	169	298
投資有価証券売却益	157	54
特別利益合計	425	404
特別損失		
固定資産除却損	457	481
固定資産圧縮損	165	284
その他	77	46
特別損失合計	700	812
税金等調整前四半期純利益	7,492	6,614
法人税、住民税及び事業税	1,262	1,187
法人税等調整額	△271	995
法人税等合計	990	2,183
四半期純利益	6,501	4,431
非支配株主に帰属する四半期純利益	411	532
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,090	3,899

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	6,501	4,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,363	2,976
退職給付に係る調整額	△3	△10
その他の包括利益合計	△1,366	2,965
四半期包括利益	5,135	7,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,682	6,786
非支配株主に係る四半期包括利益	452	610

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他の事業 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	43,777	4,702	25,589	15,026	89,094	—	89,094
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	12	2,135	7,947	10,245	△10,245	—
計	43,927	4,714	27,724	22,973	99,340	△10,245	89,094
セグメント利益	3,767	1,869	1,152	945	7,735	△265	7,469

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食事業、ホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△265百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他の事業 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	44,039	4,978	30,775	16,334	96,128	—	96,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	57	2,400	5,797	8,405	△8,405	—
計	44,189	5,036	33,176	22,132	104,534	△8,405	96,128
セグメント利益	2,633	1,885	1,391	1,226	7,136	△213	6,922

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食事業、ホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△213百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,041百万円	4,703百万円

(注) のれんの償却額は、金額の重要性が乏しいため注記を省略しております。